礫陵新聞

発行所　若松高校新聞部
福岡県若松市小石
発行人　元道寿雄
編集人　松林恒雄
印刷所　吉田印刷所

秋深し

山々は錦繍の幕を張りめぐらし楡欅の梢は青空の大気を凝集している。田園に黄金の波そよぎ、星夜の窓に燈火冴える時、未だ見ぬ他郷に想を馳せては旅情に胸をふるわせ、新しき紙、新しきインクの匂に先人の思想探究の熱情をかきたてられる。書に倦めば窓外に画嚢の山河あり、足の疲れをいとえば書架に文は豊富である。此の秋、誰か旅せざる、此の秋誰か書を読まざる。此の秋。

（写真は長門峡―向井先生撮影）

部員募集

三年生がすでにメンバーから離れたため、部員不足をかこっています。われらの新聞を守るため部員加下さい。

剣道部の歩み

苦しかつた三年間

学習とスポーツの両立へ励む

本校剣道部が発足したのは昭和二十八年のことである。当時は剣道を学校教育の中から除外していたため、文部省の発案になるスポーツとしての「しない競技」がクラブ活動としてだけ認められているにすぎず、部員も数名のあるかなきに等しい存在だった。このような状態の中で、本校剣道部に活を入れたのは桑原哲哉君とその指導に当られた山崎先生であった。桑原君は僧侶剣士父智真氏の指導を幼少から受け、入学当時すでに一流の使い手として注目されていたが、彼にもまたいくたの欠点があった。このきよう正に当った山崎先生の苦心も大きかった。そしてその天分のすとようしきを得た指導の効果は、第八回国民体育大会出場と同時に、準優勝という結果となつてあらわれ、彼のこの業績は他の部員に大きな刺戟となり、剣道修業と同時に部活動も旺んとなり、廿九年の第一回全国高校剣道しない競技大会（日光）には見事代表として「しない競技」出場の栄誉担つた本校としてはマラソンにつぐ花形種目であつた。そしてその時のメンバーは大将桑原、中堅原（第）の面々であつた。そしてこの大会では決勝戦で小豆島高校と対戦、十中八、九まで掌中にしながら、惜しくも一本負けとなり、県下最高の強敵と謳われた優勝の栄冠を逸してしまつた。

昭和三十年に入ると剣道部は若干の変動があつた。高体育部の中でやや中心的存在であつた山崎監督は、常に大将として出場しを桑原を先鋒に、中堅には中堅型快挙をとげ、試合態度のよさと華麗なフォームはよく全国大会で按西日本大会では五人抜きをやつてのけた。

松本義彦君（三年）二段

昨年までは常に補欠要員として遠征出張に専問といつた感があつたが、今回の大将として出場する。西日本大会では五人抜きをやつてのけた。

加納健男君（三年）二段

川下君と並ぶファイトマン度胸のよさもつて常に副将として活躍した。昨年西日本大会で敢斗賞受賞、思い切つた飛びこみ面にすぐれているが、試合運びの荒らさが欠点とされている。国体予選中盲腸を手術したため出欠となつたが部員中でも人気者で特異な存在。

剣道部歓迎国体出場

剣道部がついた一つのタイトルをにぎつた。第十一回国民体育大会に今年から各ブロック毎の高校剣道団体戦（三人一校）がとり入れられ、その予選が九月二日の北九州地区大会を皮切りに行われ、本校は新布陣が功を奏し合わせて選手全員の奮起によつて見事代表に出場と決定した。またしない競技高校名一名による九州代表に三年川下君が選ばれ本校は高校剣道界に今年五月一躍クローズアップされた。小さざみな動きから思い出した飛びこみ技を得意とし、容易にくづれず粘りもあり、又平常心を失くしなみなど得難い特性をもつている。今回も大将として出場する。西日本大会では五人抜きをやつてのけた。

桑原哲明君（三年）二段

が弱いためにこれまで不運のヒーローとされたが、先鋒になつてのびのびとした試合をやり、先制点をもたらして以後の試合を有利にいで主将国体島津治義君（三年）二段長身を利しての飛び込み技、抜き面に抜群の冴をみせ、文字通りの剣さばきと、鋭さは本校随一。気

選手の横顔

島津を、大将に万年四将の松本を表との争覇を前に猛練習を続け、一方中間考査をひかえて学習に邁大会以来好副将を持してきた点からいえば当然の策ともいえようが何すべく最後の努力を続けている。（一〇・一〇吉開記）

川下紘生君（三年）二段

エネルギッシュな体力と旺盛なファイトの持主、昨年西日本大会で

今日の栄誉のかくれた存在として一躍クローズアップされた。小さざみな動きから思い出した飛びこみ技を得意とし、容易にくづれず粘りもあり、又平常心を失くしなみなど得難い特性をもつている。今回も大将として出場する。西日本大会では五人抜きをやつてのけた。

快挙をとげ、試合態度のよさと華麗なフォームはよく全国大会で按

五人抜きをやつてからめきめき力を出しはじめ、今年の全国大会では島津君とともに按術優秀者賞をうけた。国体にはしない競技高校代表として出場する温厚な性格と親切さでクラスメートの人気もあり会計委員。

武運開眼す

国体には存分に斗う

山崎監督の話

離伏三年、つい国体に第十一回国体にのもとという要諦に則り、優勝できてこんな嬉しいことはありません。元来私は剣は人なりという持論をもつて少しでも剣道を学ぶことによつて人間味を豊かにすることができればと念じ、また道勤と勉強の両立を唱えながら指導して参りました。選手達は皆人間的にも技に於ても若竹のごとくすくすくと伸び、学生として申し分のない人間味が出来つつある半面、試合に臨めば準優勝戦までは実に破竹の勢で鮮やかに勝ち進み常に本命とみられながら優勝戦になれば必ずといつてよい程よく負けました。もし私が勝負師であつて選手達が勝負にこだわり勝つためには手段を選ばずという方法をとつていたら或は何回となく優勝していたでしよう。しかし選手達は嬉絡正々堂々たる態度をもつて臨み、どん詰で武運開眼により優勝することができたと確信しています。来る国体では全国優秀校九つが覇を争うことになりますが、去る八月の全国大会でほぼ腕前を解つているし、若高には武運もつき始めていることだし、選手たちのコンジションも上々で思う存分心おきなく戦うことができると信じてお

☆学体操とダンスは男女それぞれの特性をマスゲームとしての集団美の中に生かし得ていた

☆個人競技は団体演技に比べて見劣りがした。ハードルにおける跳躍は殆どハードリングになつておらず単なる障碍物越しといつた方がピツタリする程度であつたし百足競走や二人三脚は途中で紐が切れたり、チームワークの悪さや足が重かつたりで殆ど競走にさえなつていなかつた。得点種目としての漸戦、接戦が見られなかつたのは物足りなかつた。

☆観席の態度は立派だつたが、欲をいえばお互の演技にもつと称讃の拍手を送るべきで、これは父兄、一般観衆にも望みたかつた。いわばスタンドプレイに徹すべきだつた。

☆応援団は各学年とも非常に立派だつたと思うが、折角練習したのだからもつと適切有効に盛んにやれないものだろうか。

総じて高校生にふさわしい運動会であつて、学校教育の一端を参観者に発表することのできたことを喜ぶとともに、心慌一帳、じつくり落着いてそれぞれの目的に向うて最善の努力と馬力をかけて充実した第二学期を送るよう念願してやまない。（総務部長）

秩序の正しさに好感

光つた体操部の演技

添田次郎

秋晴れの好天気に恵まれ、例年八回運動会は、秩序正しく運ばれたと思うが、なお三の点についにない参観者の面前で開かれた第た昨年に比べて確かに一歩前進して指摘してみたい。プログラムの中で

☆体操部の演技は飛躍的な進歩のあとをみせていた。とくに平行棒は二ケ月足らずの練習期間しかなかつたのに、一応初歩的段階にまでこぎつけていたし、鉄棒、跳箱等とともに一層器械体操の神を発揮するよう祈る。

論説　二学期の半ばをすぎて

第二学期もはや半分をすぎて、ズムに大きくとりあげられていた年中行事のうち大きなものはあと二年生の修学旅行だけとなつた。この間に夏休みあけ直後におこなわれた文化祭は例によつて休み中の調査旅行の報告を主とした研究発表会、展示会、演劇、音楽会、バザー、ファッションショーなどならないし、「恩師とともに」も興文化部の発表会で賑わつたが、大作日数や費用の伴は将来の問題として、ニュースの提供に努めてきた。それが今回のような取扱いをされ部分は例のごとくで、わづかに女子スタッフだけによる演劇「若い娘たち」が独自な境地を開いていたような好感がもてた程度だつた。また恒例の運動会は秋晴れの快晴に恵まれ、市内小中学校のトツプを切つて開かれたが例年に稀な観衆来場、スポーツのシーズンらしい溌剌さと若人の情熱を出しつくしたのはうれしいことだつた時、あたかも熊本県荒尾高校の運動会打上げ事件がジヤーナリがよく協力一致の実をあげている運動会の打上げに飲酒した冒の投

など出色であつたと思う。

剣道部のことが出たのついでといつては何だが、本校剣道部は遂にタイトルを摑つた。寡兵優を派た運動会をやつた三年生がよくのむとすでにいくたびであらうか。第一回全国大会剣道しない競技大会に本校がしない競技準優勝という輝かしい栄冠を摑つてから、「若高の伝統をつくれ」「若高の伝統復活」と叫びつづけながらその都度不運に泣いてきた。どん詰での壁々たる勝利はさぞかし選手諸君はもちろん、家族の方も、監督の先生方も、体育後援会の方々も喜んでおられることと思う。真に痛快極まる壮挙である。記して祝意をのべたい。第十一回国民体育大会の観戦を願う。

書が地元某有力紙に報ぜられた。記事にするとは、常識的には到底考えられぬ。もちろん取材の方法として投書の真相をつきとめて新しい真実をつきとめ、警告的、啓蒙的記事にする場合はある。しかし今回のような投書がけで事足りる問題をさも一大事件といいたげに追いかけ廻すセンスは恥ずべきである。一方ではそれがニュースの不足に悩んでいる記者連の責任の様も思われるし、われわれもその源を質してこれまで随分それが今回のような取扱いをされるとなるといわゆる新聞記者対策であるいは新聞そのものについても一考せねばならぬ立場に置かれることになる。新聞を愛し、新聞の社会的公器としての価値を知るが故に敢て一文を草する所以である。

現に両中間考査も終り、生徒会新年度の役員を決定する運びとなつた。心を新にして学園の一層の発展のため、協力一致して青春の幸を謳歌しようとしているものである（よ）

就職決定第一号

本年度就職第一号は商業科三年B組の宮崎賢司君と決定した。同君

君司賢崎宮　商業科

任友銀行の金的射止む

三井銀行に

岡本玲子さん　三年二組岡本玲子さんは十月三日付で三井銀行に採用内定した。岡本さんはクラス会計委員で、親切でやさしく、入行後も模範的行員になるだろうといわれている。

就職中間展望

本年も、はや求人状況は既に第一期を終り第二期に入つた観がある。我々も当初少なくとも一社一名ということをモツトーとして努力をもつてきたが、前述の如き状態で七割あげてしまつて無事住友銀行に入社した例がある、人並以上の努力をなくてはこのはげしい競争に打勝つことはできない以て他人は決してよい程よく負けましたでしよう。しかし選手達は嬉絡正々堂々たる態度をもつて臨み、どん詰で武運開眼により優勝することができたと確信しています来る国体では全国優秀校九つが覇を争うことになりますが、去る八月の全国大会でほぼ腕前を解つているし、若高には武運もつき始めていることだし、選手たちのコンジションも上々で思う存分心おきなく戦うことができると信じてお

激しくなつた競争

心構えをしつかりもて

就職指導委員　天谷温郎

君も自己の現状に甘んずることなく尚一層の努力を積んで頂きたい。先づ校内での競争、次に他校との競争、次に他校との闘であることを銘記すべきであり、とかく本校は地理的環境からしてその感を深くする、参考として……本校の生徒ではないが三年生の一学期間に就職問題集を買いてしまつて無事住友銀行に入社した例がある、人並以上の努力をなくてはこのはげしい競争に打勝つことはできない以て他人は決してよい程よく負けましたでしよう。しかし選手達は嬉絡正々堂々たる態度をもつて臨み、どん詰で武運開眼により優勝することができたと確信しています来る国体では全国優秀校九つが覇を争うことになりますが、去る八月の全国大会でほぼ腕前を解つているし、若高には武運もつき始めていることだし、選手たちのコンジションも上々で思う存分心おきなく戦うことができると信じてお

就職中間展望

本年も、はや求人状況は既に第一期を終り第二期に入つた観がある。我々も当初少なくとも一社一名ということをモツトーとして努力をもつてきたが、前述の如き状態で七割あげてしまつて無事住友銀行に入社した例があり、人並以上の

○選考中　十社
○書類未提出十一社
○不採用　七社

以上が十月三日現在の実数であるが求人事業所も洞海三市の主なる会社が大体出揃つた観がある、我々も当初少なくとも一社一名ということをモツトーとして努力をもつてきたが、前述の如き状態で七割あげてしまつて無事住友銀行に入社した例があり、人並以上の

○内定者数二名（男子一、女子一）

激化している証拠である、生徒諸君は自己の現状に甘んずることなく尚一層の努力を積んで頂きたい。先づ校内での競争、次に他校との競争、次に他校との闘であることを銘記すべきであり、とかく本校は地理的環境からしてその感を深くする、参考として……本校の生徒ではないが三年生の一学期間に就職問題集を買いてしまつて無事住友銀行に入社した例があり、人並以上の

學校・官公廳御用命
井口茶舗
大井戸通り一丁目
電⑦五二一三

明治町四丁目の
坂本甘樂堂へ
電⑦四六七九
用のない答子
老舗
贈菓ときわ
御お
明治町四丁目
電⑦四六五六
で

電氣器具一切
家庭電化に一役!!
セイコー電氣
大井戸通り二丁目
電⑦三〇一二

たのしい暮し
上手な貯蓄
株式會社住友銀行若松支店
定期預金
ハツピー積立
堅実経営

日野先生 国体連続十年出場なる

▽本校体育科の日野博先生が全国でも二十一名にすぎぬ国体十年連續出場の栄に輝かれることになつた。先生は福岡縣ハンドボールチームの牽引車的存在で名ハーフとして学生時代から全日本の有力メンバーであり、さきの日獨ハンドボール八幡大会ではコーチとして全九州軍の指導に当るなど、漸くこの競技では円熟の域に入られた先生の国体連續出場はスポーツ王国福岡縣でも陸上競技の高橋選選手（八幡製鉄＝連續十一回出場）とともに関係者の賞讃の的となつている。以下▽先生のお話しからその輪郭を描いてみよう。△

ハンドボール全日本の重鎮
たゆまぬ努力みのる

先生は昭和二十二年の第二回全日本選抜大会に東京代表として出場、初優勝を飾られるとともに、第三回福岡大会にも連覇、昭和二十四年から當艦高校に赴任以来二回、本校教官として赴任されてから五回、通算十回連続出場となつたわけ、この間第五回名古屋大会でも優勝されており、優勝三回、三位二回など、タイトルを掌中にした経験をもたれており、歴史の浅い日本のハンドボールをよく国際的水準にまで高める上に預つて力があつた。初の国際試合であつた日独ハンドボール大会には後進に道を開くためコーチ格として、出場はされなかつたがライン外での叱激励の姿は今も眼中に残つている。

先生は日体時代からハンドボール専門で精進を続けられた日本ハンドボール界での真に貴重な存在で昭和二十五年には国体優勝、全日本選手権、東西対抗とすべての

就職第二次決定者

安川電機に二名
小川・空閑さん

黒崎の安川電機に本校から始めて二人の合格者を出した。五人の希望者のうち第一次で二人の合格者を出し、そのまゝ採用が内定したもの。（写真は上から小川・空閑・戸内さん）

○小川堯子さん（三ノ五）
庶務委員で、男子進学者にまじつても抜群の成績で押し通し聡明の一語につきる頭脳の持主で、一面物腰もやわらかく、近代的な両性にうつてつけの人物。

○空閑洋子さん（三ノ三）
会計委員。責任感強く、クラスの仕事は何をまかせても立派にやり通す。成績もクラス中で上位を占め、温厚で明朗な性質が高く評価されたもの。

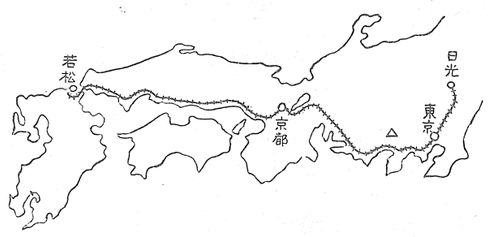
富士銀行に
戸内さん

○戸内崇枝さん（三ノ二）
庶務委員。最初に求人の申込みがあつて、第一期の最後まで選考に残り、漸く内定した。親切で責任感強く、一面積極性もあり適任

二年生諸君へ
―修学旅行に就いて―

石丸博

コース京東京―光日―京都―東京



私の十代のテーマであつた。その生涯をおくろうと思う気持が、泉マン頃の感謝書に、内村鑑三さんの「のように湧いて来た。それは、何写真展を観終えて、私も、又、人間家族の一人であることを、自覚後世への最大遺物」がある。岩波ものにもまして、素晴らしい夢で人間文庫の、それも、百頁余の小冊子あつた。毎日々々が、まるで神霊しなであるが、にでも、うたれたように、清々し池とした世界から人間の無生―親の愛情を一身に浴びて育ち―

―私達が、五十年の生命を托した此の美しい地球、此の美しい国、此の私達を育てゝくれた山や河、私達は、これに何も遺さずに死んでしまいたくない。何が、此の世に記念物を遺して逝きたいだろう。近頃の私は、もう、「いく、それならば、私達は、何を此の世かにしべきか」なんて事を、考えなくなつてしまつた。考えなくたつてしまつたと言うより、なん・ゴ直立の周囲に、木馬を配置し、その軸を回転させて、木馬に乗つて廻るような感じを起させる、あの回転木馬。人類の歴史始まつて以来、人間家族を乗せた回転木馬は、お客こそ変れ、停ることを知らない。そうして又、この回転木馬の奏でるメロディの、何と、いじらしいことか。唱い―笑い―泣き―怒り―今日も明日も、この回転木馬は、さまざまのお客を乗せて、永遠に廻り続けることであろう。

だが、せめてもの、今の私の願いは、そのいじらしいメロディを静かに噛みしめたい、いうことである。生きるということの美しさを、もう一度、素直に反芻してみたいということである。生命あるかぎり、ふと、そんなことが、

遺すことの出来るものではない。だな、そんな理想論をぶつこと自体が、そら〳〵しくてならないのだ。何とも言つても、一人一人が自分の行動にハツキリとした責任感を、終る人目のない所でも持つことだと思う。（二年S）

高校生活で後々まで楽しい想い出として残るのは修学旅行だそうだ。〝そうだ〟と云うのは私が学生時代修学旅行に行つ事がないからだ。別にその時病気であつたわけでも無慎をくらつていたのでもなく、学校で行かなかつたからだ。それには次の様な理由がある。私の母校も勿論東京に行つていたが、昭和十年頃修学旅行で数人がようしからざる場所に足を踏み入れた。当人達は論旨校にならたがそれだけではなく

衝角に立つている、映画にしても、ねばならなかつた当局者の気持でみた所で大の選択位にしか当らないだろう、然し問題は、犬は頑健な身体のせいもあるだろうが、それよりも心して、細心の注意を払つて、健康に育てる事だと思う。

私達も、環境が悪いのは、大人の世界がいけないんだとか、政治の貧困だとかいうことを論議する前に、悪いものは悪いんだというはつきりした意識を以て、先づ自らがそれに感じない注意が必要だと思う。

いい環境の中で生活出来るということは勿論大人が望ましいことである、然し周囲の環境が悪いから、悪くなつても仕方がないという無関心は成立たない。

今の世の中を更によくする為には、大人も努力をしなければならないことは勿論だが、それよりもむしろ、青少年諸君の心構えに掛つているといつても過言ではない。

汚ない沼の中からでも、蓮は綺麗な花を咲かせている。

（本校生徒部長）

生徒会役員改選に当つて
二つのこと思う頃

早いもので、つい先頃生徒会長の選挙をしたように思つていたが、あれからもう一年が夢のように過ぎてしまつた、その間松尾会長を中心とした執行部の諸君及び生徒委員の諸君の努力と、全会員の協力とによつて、生徒会活動も順調を歩みを続けて来た、この十一月から二年生と入代りをして、一応その仕事から去つて行く現三年の役員諸君に心から

その為に、最近福岡県では一青少年保護育成条令」という県条令を出して、悪環境から青少年諸君を守らうとしていることはすでに知つていると思う、この条令が出た当歴は、兎角の批判が新聞、ラジオを通じて行われていたが、大部分のものに取り出したのだと思うが、こんな等学校関係者だけで、北九州地区の高校生徒を守らうという会議」というのが発足した、この会が出来なければならないということは実に情ない事である、この会の実施事項の一つに環境浄化という項目があり、終戦後責任のともなわない自由主義がこんな悪環境を作つたのである、痛嘆の極みである。

何れにしても先生の今日あるのはその旺盛なファイトと研究心、節度を失せぬグランドマナーの結果であり、連続十年国体出場の栄誉を讃えるとともに一層の御健斗をお祈りする次第である。

行き届の東寮風景を目的地について入前の詳細な予備知識については旅行前に聴講をする事になつているので省略するが、要は〝静〟の古都景都を比較したいものだ、京都ではお寺巡りを線香臭いだけと思つたり東京でたゞ単に銀座の柳が何本あつて〝大いに愉快だつた〟と言つて過ごしてはなるまい。修学旅行は大いに愉快にするがよろしい。しかし終つてみてそれが〝あにしてよかつた〟と言えるものにしたいものだ。

一応二学期の主な学校行事も終つたところで、そのまとめの意味で、論説に文化祭、運動会関係のことを、さらに運動会については向井先生の撮影された写真をお借りして、添田先生の御批評をお願いした。それに剣道国体初出場と日野先生の連続十年出場を記念して特集した。

二面には修学旅行の日程とコースを掲載した。修学旅行中など不吉な事件のあとだけに御無事をお祈りする。

どろ沼にも花が咲く

原田敏武

環境が悪いが為に悪くなつてゆく」ということは許せないことである。

その為に、最近福岡県では一青少年保護育成条令」という県条令を出して、悪環境から青少年諸君を守らうとしていることはすでに知つていると思う、この条令が出た当歴は、兎角の批判が新聞、ラジオを通じて行われていたが、大部分のものに取り出したのだと思うが、こんな等学校関係者だけで、北九州地区の高校生徒を守らうという会議」というのが発足した、この会が出来なければならないということは実に情ない事である、この会の実施事項の一つに環境浄化という項目があり、終戦後責任のともなわない自由主義がこんな悪環境を作つたのである、痛嘆の極みである。

何れにしても先生の今日あるのはその旺盛なファイトと研究心、節度を失せぬグランドマナーの結果であり、連続十年国体出場の栄誉を讃えるとともに一層の御健斗をお祈りする次第である。

『社会人は高校生を
どうみているか』
＝就職懇談会から拾う＝

さる九月二十一日、就職のための懇談会が市公会堂で開かれた出席者は若松市をはじめ近在の銀行、会社の人事担当者で十八社この席上で高校就職者についていろいろな注文が出されたが「社会人はいかに高校生をみているか」という興味あるテーマの一端を示したものとして参考になるものがあつた。

礼儀が正しくない

その中で主なものを拾つてみると、

1礼儀作法を重んずること
2自己の職場に誇りをもつこと
3受験会社の概要を知つていること
4常識を養うこと

などであるが、とくに強調されたのは高校生は礼儀を知らないということ、この意味のなかには、立居振舞などの作法に関するもの外に、打算からくる価値の欠如といつたものも含まれていたようである。

また常識に欠けていること。例えば入社試験などで、若松市内にある官公庁を訪いたところ、知つているのは市役所と警察署だけだつたという具体例も示されていたこれらは単に就職希望者のみならず全体として傾聴に値することと思われる。

「商苑」第五号発刊

商業経済研究部では「商苑第五号」を発刊する。今回は従来の経済研究のみならず、商業科生徒の日常生活の断片や考え方など随筆風なものが多くとり入れられている。「未来の実業界を双肩に担おうとする商業科生の息吹を知るのも重要なことである」と、また、

生徒の読書感想文

今年から若松市に初めて図書館協議会がつくられ、市内小中高校生の「読書感想文」が募集されることになり本校でもきる十日に第一回募集を終つた。そのうち数篇佳良なものがあつたが次の感想文を特に選んで掲載することにした。

不思議な、もやもやした、美しい世界、そんなものにふれたくなつて、図書室の整然と並んだ本の背を打診していたとき指にふれたのがこの本だのであるが、ピントの合つたカメラのファインダーをのぞくようにはつきりと、一瞬光が洋子を通して、晴朗的と云える中国社会を、私は知ることになつたのである。今日の中国は〝新しい〟そうである。〝堕落した、利己的な、不幸な社会病〟も、もう起ることはないだろうと嬉爽として希望に満ちていながらたゞ庫をひとという幸福を断念しなければならなかつた祥子の悲劇もあつてはならないと思う。

老舎作『駱駝祥子』
畸型的な社会の悲劇

二年 森 明子

祥子は北京の車庫夫である。立し、側杖を食つて、必死にためた派な体格を持ち、俥を自分のすと思い、都大路のアスファルトに汗を流すことを誇りとしている。

俥を提供するというだけが魅力の押しかけ女房候娘が初潮で死ん、だろう、彼は若い俥夫との交際にいるが、日曜その他の裏調つつきのように決定した。

○日曜、十月二十四日（水）午前、若松発
〃　夜　京都着（一泊）
廿二日　市内見学
〃　夜　京都発（車内）
廿三日　朝　東京着
都内見学（一泊）
廿四日　日光日帰（東京一泊）
廿五日　自由見学
〃　夜　東京発
廿六日　午後　若松着

剣道部二十四日に出発
宿舎は赤穂市広門旅館

国体全国個覇を目指す剣道部で後七時三〇分若松駅発、八時三〇分折尾駅発急行西海で上神。二十五日午前八時七分赤穂着、宿舎赤穂市加里屋「広門旅館」に落付く二十六、二十七両日は相生市で練○午習、二十八日神戸市王子陸上競技

とはできないのだ。彼らには未来も何もない。

図書館便り

今年ぶりに返還された書物

戦死した息子に代つて
父親から図書館へ

石崎庄郎さんからこの程、「大日本全史」一巻が届けられた、本箱を整理している時、今はなき息子の蔵書の中に借用した書物を見つけ、学校の図書であることが分つて、早速返還された。事情は次の如く別紙に記されている。

「昭和二十年本営生石崎亨、戦時中研究の為、本書拝借せしまゝ、全年八月五日戦死す、本人は関谷大学在学の折、学徒動員中応召、歴史、文学に趣味深く之を尊攻せんが為の目的も戦争により可惜二十才にして永遠に明す機関限無し、蔵が遅延して海に申訳ありません、蔵に御返還いたします」（原文のママ）

石崎庄郎さんのこの程、「大日本全史」一巻が届けられた、本箱を整理している時、今はなき息子の蔵書の中に借用した書物を見つけ、学校の図書であることが分つて、早速返還された。事情は次の如く別紙に記されている。

「昭和二十年本営生石崎亨、戦時中研究の為、本書拝借せしまゝ、全年八月五日戦死す、本人は関谷大学在学の折、学徒動員中応召、歴史、文学に趣味深く之を尊攻せんが為の目的も戦争により可惜二十才にして永遠に明す機関限無し、蔵が遅延して海に申訳ありません、蔵に御返還いたします」（原文のママ）

寄贈図書紹介

本校先輩の江尻定巍さん（現在栄業映劇マネージャ）から先般、「何か生徒に有意義な『映画』の本を寄贈したい」との御意向で金一封が寄贈されたので映画部の先生に選定をお願いし、次の書物を購入しました、御目録を掲示すると共に購入書をお知らせします。

一、日本映画史上、下飯島正著
二、イタリア映画史　飯島正著
三、フランス映画史　飯島正著
四、アメリカ映画史双葉十三郎著
五、ソヴイエト映画史亀井文夫著

新刊紹介

○現代学生講座（1）学生と思想
（2）学生と生活
（3）学生と読書
（4）学生と教養

○夜と霧　ヴイクトールブランクル
○密年と若と民衆　三笠美仁
○キリシア神話上下　呉茂一
○村の記録　松好貞夫
○杉松欣次郎編　化学実験
ハンドブック　奥平光
上本佐一
○東洋の名著　毎日新聞社

回転木馬

つるしま・まさお

模範答案の掲示

明して下さつても、それ程効果がない様な気がする。

勿論、授業時間中に試験問題について、いろいろ説明や注意をしてある解答案が二、三日も立たない中に、無くなつているという事だ。こんな事に模擬考査で数回出喰し、とても不愉快だつた。押しピンがはずれて、自然に用紙が何処かへ行つて仕舞つたのなら、やむを得ないが、解答紙をちよつと失敬といつてポケットの中に入れる人が居るのではないかと思う。

もしそんな人が居たら是非自分で反省してほしい。学校生活を一層愉快な楽しいものにするには、この人の為に、一人一人が自分の行動にハツキリとした責任感を、終る人目のない所でも持つことだと思う。

編集後記

十月初旬の発刊予定が部員数の少いに、三年生が全然タッチしなかつたので、ついに下旬になつたうえに部員急襲の憾でお詫びしたい。

一応二学期の主な学校行事も終つたところで、そのまとめの意味で、論説に文化祭、運動会関係のことを、さらに運動会については向井先生の撮影された写真をお借りして、添田先生の御批評をお願いした。それに剣道国体初出場と日野先生の連続十年出場を記念して特集した。

二面には修学旅行の日程とコースを掲載した。修学旅行中など不吉な事件のあとだけに御無事をお祈りする。

前進

これはまた心温る新二題

☆剣道部が第十一回国体に初の高校九州代表として出場の栄に輝いたことが決定した直後、選手の大部分をクラスから出している三年三組では直ちにクラス会を開いて選手への激励を兼ねて記念事業（？）を思い立つた。総務委員の田代君が中心になつてクラスメートの栄誉を讃え、さゝやかでも記念品を贈るなどということが果していつこの学園にあるだろうか。他山の石として記する次第

☆三年B組の室勝利君が、中学生と協力して「スリの徹用」に一役買つたことが某紙の市内版に報ぜられた。十六日試験も終つてほつと一息入れているところへ一人の男が狭い路じに逃込むと同時に「スリ」の声がしたのですぐにその出口をおさえて見事御手柄というわけだが、その機転といい、スリが逃げ場に窮してそうと財布を捨てたのを見のがさなかつた観察力といいさすが高校生らしい措置だと街ではもつぱらの評判になつている。

なお他人の栄冠を妬み、悪の抜コを公然と許す今日の世相の中でこれは若い高校生たちの心意気を示した一端の物語りである。

北九州高校駅伝
十月二十八日に

第八回福岡県高等学校北部地区駅伝大会は来る十月二十八日午前十時戸畑市役所前出発で黒崎折返し、門司―戸畑間四二、二三キロのコースで一八校の参加で行われる。本校からは一区（十キロ）小泉（三ノ五）、二区（三キロ）江頭（二ノ六）、三区（八キロ）小山田（一ノ四）、四区（七・五キロ）山崎（三B）五区（三キロ）高木（二ノ三）、六区（五キロ）大山（三B）、アンカー七区（五キロ）佐藤（一B）の七選手が出場するが、常連、戸畑工高など強剛にまじつて苦戦は免れないが健斗を期待されている。なお市内での練習には応援を希望されている。

富田選手派遣費カンパ
一六、三六五円に上る

メルボルンオリンピックに出場する三浦高校富田選手（百二百平泳）の派遣費カンパは、教組の発案で県体育連盟が中心となつて募金を呼びかけているが、本校では全校生徒の大部分が応募、生徒関係で金一、七七〇円、定時三、五〇〇円が集まつたなお職員も一人一五円のカンパをすることになり、金目、定時含せて合計六、三六五円を県教組本部を通じて富田選手に送ることになつた。なお全日制クラス別募金額決次の通りである。

「三年」1組三七〇円、2組三八〇円、3組五〇〇円、4組三〇〇円、5組四〇〇円、6組三八〇円、7組四三〇円、A組一七〇円
B組三四〇円

「二年」1組五〇〇円、2組五〇〇円、3組五〇〇円、4組五三〇円、5組四七〇円、6組三六二円、7組三八〇円、A組三八〇円、B組四七〇円

「一年」1組四四〇円、2組四二〇円、3組三一〇円、4組五三〇円、5組五五〇円、6組五四〇円、7組五二〇円、A組五三〇円
B組五二〇円

毎日展に入選
書道 伊藤先生が

書道科の伊藤先生がこのたび全国的書道展である毎日新聞主催「全日本毎日書道展」に初入選された先生は昨夏より新しい書道の研究に没頭され、毎日百五十枚以上の練習を続けられ、明の王鄰の書風を学ばれたもので線の強さに重点におく雄渾な書風で、満一年の努力がここに一応実を結んだわけこのほか日本書芸院展（関西以西褒状受賞）福岡県展に入選され、目下日展に出品中でその入選が大いに期待されている。

☆行事予定一部変更☆

二年生の修学旅行が二十一日に延期されたため、当初の予定が次のように変更された。

○期末考査―十二月五、六、七、八
○校内マラソン―十一月十日
○全商珠算実務検定―十一月十八日

祝若高剣道部國体出場

永田材木店
浜三番町二丁目　電話 ⑦2849

剣道具 柔道衣 精武堂
小倉市大門10　電話 ⑤6829

旅館・割烹
丸窓
若松市明治町四丁目　電話 ⑦―2316